

佐倉市上下水道ビジョン原案（12月22版）主な修正箇所

資料②

No	ご指摘事項(第5回懇話会11月10日版)		修正後(12月22日版)		備考
	頁		頁		
1	7	図表 水道・下水道事業が抱える課題 ・4.浸水対策に「下水道の課題」と「災害・危機管理の課題」の色が混ざっており、わかりにくい。	8	図表 水道・下水道事業が抱える課題 ・4.浸水対策を「下水道の課題」として緑色に修正。	
2	8	事務局修正	9	ビジョン期間における水需要の補足説明として「図表 1日最大配水量(水道)の推移」を追加	
3	10	事務局修正	12	ビジョン期間における課題の補足説明として「図表 公共用水域の水質保全に関する概算事業費」を追加	
4	11	事務局修正	13	ビジョン期間における課題の補足説明として「図表 浸水対策に関する概算事業費」を追加	
5	12	事務局修正	15	ビジョン期間における課題の補足説明として「図表 水道施設の老朽化対策・耐震化に関する概算事業費」を追加	ビジョン期間における課題の補足説明として「図表 下水道施設の老朽化対策・耐震化に関する概算事業費」を追加
6	15	事務局修正	19	図表 水道事業における総収益、総費用、当年度純利益の推移 ・H27は決算見込、H28は予算案に変更、受水費、建設改良費(事業費)等の精査変更により修正	
7	15	事務局修正	20	図表 下水道事業における総収益、総費用、当年度純利益の推移 ・H27は決算見込、H28は予算案に変更、流域下水道維持管理費、建設改良費(事業費)等の精査により修正	
8	17	基本理念は、もう少し分かりやすい説明を追記したほうが良い。	22	基本理念を説明するためのイメージ図を追加 ※デザイン作業で、より分かりやすいイメージ図を検討します。	上下水道のある快適な暮らしと、それを未来につなぐための施設更新といった4つの基本方針の要素をこめたもの
9	18	図表 水循環イメージ ・配水池から配水管を通して直接家庭に届けられる表記も必要ではないか。	23	図表 水循環イメージ ・配水池から配水管を通して直接家庭に届けられる表記を追記。	
10	18	図表 水循環イメージ ・汚水のみが循環する表記となっているので、雨水の循環まで追記した方がよいのではないか。	23	図表 水循環イメージ ・雨水の循環についても追記。	
11	20	事務局修正	26	2の強靱の成果指標に全国指標として用いられている「厚生労働省による基幹管路の耐震適合率」を追加	※P37～P38も左記により内容追加
12	20	4.4.ビジョン成果指標の図中の基本方針の4.経営のビジョン成果指標に⑥水道事業の現預金残高と⑦下水道事業の現預金残高を設定しているが、この指標は一般的か。	26	4.4.ビジョン成果指標の図中の基本方針の4.経営のビジョン成果指標を⑥水道事業の経費回収率100%以上の確保と⑦下水道事業の経費回収率100%以上の確保に修正。	
13	21	図表 上下水道ビジョンの施策体系 ・施設規模の最適化は、基本方針の強靱ではなく、経営に分類されるのではないか。	27 51	図表 上下水道ビジョンの施策体系 ・4.経営の(1)施設規模の最適化に再掲。 図表 上下水道ビジョンの施策体系の修正に合わせて、本文においても51頁の基本方針 経営のiii.適切な資産管理の次に施設規模の最適化の項目を再掲している。	
14	21	図表 上下水道ビジョンの施策体系 ・施策体系の基本方針2.強靱の(2)下水道施設の更新・耐震化にiii.計画的な耐震化の促進とあるが、同様の取組が(1)水道施設の更新・耐震化の項目にあってもよいのではないか。	27 40	図表 上下水道ビジョンの施策体系 ・基本方針2.強靱の(1)水道施設の更新・耐震化にiii.耐震化計画の適時適正な見直しを追記。	
15	21	図表 上下水道ビジョンの施策体系 ・施策体系の基本方針4.経営の(1)経営基盤の強化にiii.資産管理の最適化とあるが、「iii.適切な資産管理」などの表現に修正したほうがよいのではないか。	27	図表 上下水道ビジョンの施策体系 ・iii.適切な資産管理に修正。	
16	22	図表 水道・下水道事業が抱える課題 ・4.浸水対策に「下水道の課題」と「災害・危機管理の課題」の色が混ざっており、わかりにくい。	28	図表 水道・下水道事業が抱える課題 ・4.浸水対策を「下水道の課題」として緑色に修正。	
17	23	・水道水の安全確保の主な取り組み内容の「直結給水の拡大」の説明における「浄水場から送られてきた」との文言を「配水地から送られてきた」に修正したほうがよいのではないか。 ・直結給水の拡大検討から直結給水の導入可能性検討に修正したほうがよいのではないか。	29	・「浄水場から送られてきた」との文言を「配水地から送られてきた」に修正。 ・「直結給水の拡大検討」から「直結給水の導入可能性検討」に修正。	
18	28	(4)環境対策の推進において、意識啓発を進める旨の文言が導入文と項目内の文で重複している印象を受けるが、統一するなど工夫する必要があるのではないか。	36	・導入文においては、「住民への出前講座や施設見学を実施」などの具体的な取組の記述を削除し、項目文のみに具体的な取組を記載。	
19	38	・総括原価主義の説明書きで給水収益(下水道使用料収入)と記載しているが、給水収益と下水道使用料収入は併記すべきである。 ・事業報酬は、水道協会としては資産維持費としている。	48	・水道料金・下水道使用料に修正。 ・事業報酬を資産維持費(事業報酬)に修正。	
20	41	(2)お客様とのコミュニケーションの推進は、危機管理にも関わってくるのではないか。危機管理の箇所でもお客様とのコミュニケーションを取るという色合いを出す文言を追記することが望ましいのではないか。	52	・導入文に「さらに、ビジョン策定のために実施したお客様アンケートにおいて、災害時に備えたお客様の飲料水の備蓄状況が不足していることが判明しています。そのため、災害や危機の発生に備えたお客様とのコミュニケーションを進める必要があります」との文言を追記。	
21	43	・「連携による経営改善」とあるが、この部分だけ見ると実現に向けた取組が進んでいるかのような誤った印象を市民に与えるのではないか。 ・コンセッションは未知の点も多いため、実現に当たってのハードルも高いのではないか。そのため、当面は上下水道一体での事業運営を維持していく点を第一に打ち出したほうがよいのではないか。	54	・導入文に「今後、佐倉市の水道・下水道事業は、上下水道部全体の組織再編も計画しており、効率的で機能的な組織体制づくりを進めることで経営改善を図っていきます」との文言を追記。 ・コンセッションに係る文言やイメージ図を削除。	・「連携による経営改善」については、現時点で佐倉市においては、コンセッションなどの導入予定はないので、まずは、佐倉市の上下水道として効率的な経営に努め、その上で連携手法の情報収集や調査研究を進めていく趣旨の表現に修正する。 ⇒本趣旨により一部文言修正